

釧路湿原川レンジャーNews

令和8年度 第1回学習会が開催されました！

第1回「釧路湿原川レンジャー学習会」を6月25日（木）に開催し、21名の川レンジャーが参加しました。

午前は、釧路町岩保木水門付近の堤防沿いで行われた、「花咲かじいさんプロジェクト」に参加し、遠矢小学校の4・5年生と協力しながら植樹を行いました。その後、過年度に植樹した苗木の成長観察や除草作業を実施しました。午後は、サルボ展望台入口付近で、特定外来生物であるオオハングソウの防除活動に取り組みました。



◆「花咲かじいさんプロジェクト」への参加



「花咲かじいさんプロジェクト」による植樹活動に参加し、川レンジャーは4つのサークルで計40本の苗木の植樹を担当しました。

はじめに、小学生と一緒に、砂利によるマルチングの効果や植樹の方法についての説明を受け、その後植樹作業を行いました。当日は天候に恵まれ、爽やかな陽気のなかで気持ちよく作業を進めることができました。

今回の植樹では成長の早いハンノキやシロヤナギをはじめ、比較的大きく成長するイヌエンジュやハシドイ、寿命の長いミズナラやホオノキなど、24種類・280本の苗木が植えられました。



植樹作業の後には、過年度に植樹した苗木（稚樹）の成長状況を観察しました。どの樹種も元気に育っていました。

また、雑草に覆われて見えにくくなっている苗木もありましたが、川レンジャーの皆さんで除草作業を行い、苗木の周りをきれいに整備することができました。



◆ オオハンゴンソウの防除作業



防除効果検証のため、一定区画内の
本数と最大草丈を計測しました。

午後は、標茶町塘路地区のサルボ展望台入口付近で、特定外来生物に指定されているオオハンゴンソウの防除作業を実施しました。はじめにオオハンゴンソウについて学び、防除効果を確認するための生育調査を行った後、抜き取り作業に取り組みました。

作業当初は他の植物との判別に苦労しましたが、次第に特徴を把握し、オオハンゴンソウのみを抜き取ることができるようになりました。

今回は、2.1kgのオオハンゴンソウを除去しました。いずれも草丈の小さい個体でしたが、その数は多かったものと考えられます。

また、今回は個体が小さい時期に防除を実施したため、比較的作業しやすく、効果的な防除活動となりました。



駆除したオオハンゴンソウ

★ 観察活動の報告

川レンジャーから観察活動の報告が寄せられましたので、ご紹介します。観察活動は、川レンジャーの重要な活動の一つであり、釧路湿原や釧路川の環境を守るために大きな役割を果たしています。今後も「釧路湿原川レンジャーNews」で活動の様子や観察結果を紹介していきますので、引き続き皆さまからの報告をお待ちしています。



観察日	報告内容
6月9日	釧路川沿いを散歩するのが日課です。旭橋から中央埠頭までの往復では、たばこの吸い殻をはじめ、飲料容器等のポイ捨てゴミが気になります。最近は、吸い殻などを拾っています。
6月11日	摩周湖第一展望台から摩周岳までトレッキングしました。トレイルにはゴミ一つなく、気持ちよくトレッキングできました。
6月12日	鶴見橋から温根内ビジターセンターまで歩きました。たばこの吸い殻、飲料容器のポイ捨てが気になりました。
6月12日	新釧路川河川敷の法面工事が行われていました。直ぐ近くに多数のたばこの吸い殻があり、もし、工事関係者であれば、しっかりと意識して欲しいと思いました。
6月27日	シラルトロ湖茅沼の森周辺で開催された野鳥観察会に参加しました。あいにくの天気でしたが、アオサギ、ウグイス、カッコウ、マガモなど約20種類の野鳥を見ることができました。
6月30日	ホザキシモツケの開花を確認しました。釧路湿原では珍しい花ではありませんが、釧路にも夏が来たと実感します。
7月3日	陽気に誘われ塘路湖、細岡展望台方面へ行きました。気になる不法投棄などはありませんでした。これから観光シーズンに入りますが、今後もこの状態が保たれることを期待しています。一方で、達古武キャンプ場入口の国道駐車帯でのごみの散乱が気になります。

アカゲラの巣 (6月27日観察)



ホザキシモツケの花 (6月30日観察)

